PSZ-1265(19103)

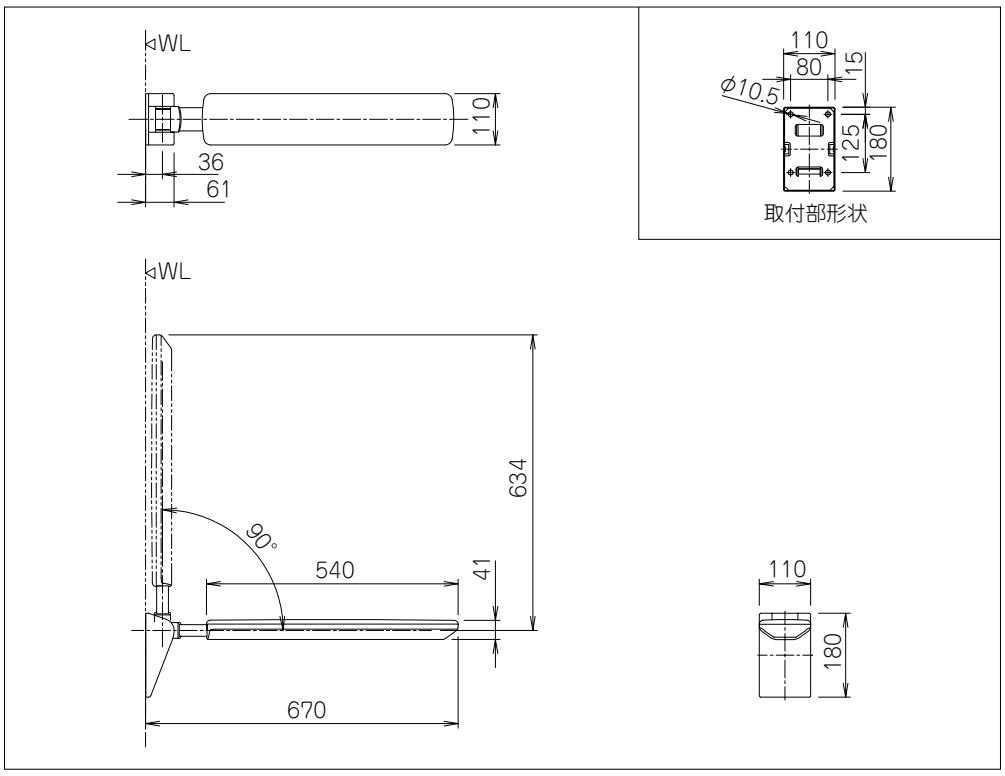
施工説明書

はね上げ式前方ボード

KF-AA482H67

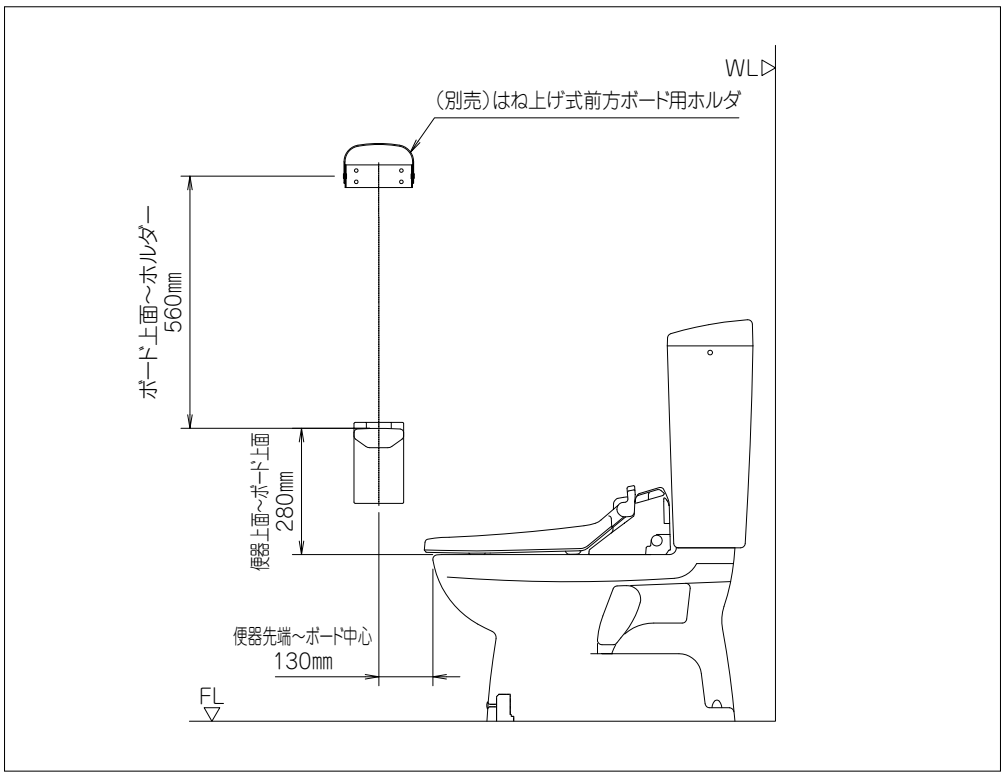
商品の機能が100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分ご理解のうえ
正しく施工してください。

●商品図

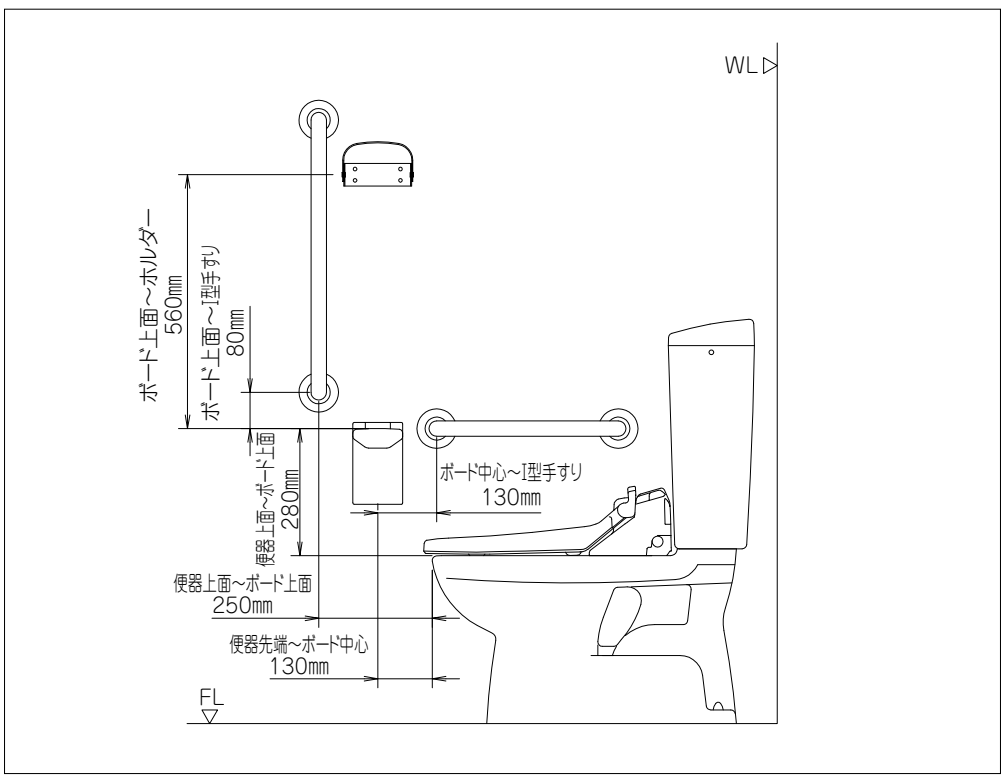


●推奨設置位置

下図を参照し、使い易さに合わせて取付位置を決めてください。



●完成図



●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

注意……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

禁止……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

指示実行……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠注　意	
外れたり、ガタが生じないように、強固に取り付けてください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	指示実行
取付面が薄壁の場合は、事前に補強木（合板なら45㎜以上、角材なら75㎜以上）を設けておいてください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	指示実行
取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、AYボルトを使用してください。 ※取付が不安定になり、落下してケガをする恐れがあります。	指示実行
壁の表面が軟質の場合、手すりに荷重が加わったときに壁が変形する恐れがあります。構造用合板などで補強してから手すりを取り付けてください。	指示実行
必ず施工説明書の指示どおりに施工してください。 ※誤った施工方法をされた場合、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。	指示実行
浴室など手すりに直接水がかかる場所への取り付けはしないでください。 ※取付壁の裏側に浸水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。 ※故障し可動しなくなる恐れがあります。	指示実行
取付壁に突起や不陸がないことを確認してから施工してください。 ※壁に突起や不陸があると、手すりの操作荷重が重くなったり、取付後のガタが発生する恐れがあります。	指示実行
±1度以上傾いた壁に施工しないでください。 ※手すり先端が下がりすぎて手がすべり、ケガをする可能性があります。	指示実行
落したり、硬いものをぶつけたりしないでください。 ※商品が破損して、ケガをする恐れがあります。	指示実行
はね上げ式前方ボードは公園トイレなど管理の行き届かない場所や多目的トイレなど不特定多数の方が使用する場所への設置はお勧めしません。 ※ブラケットカバー や手すり部に樹脂部品を使用しているため強い衝撃が加わると破損する恐れがあります。	指示実行
取付面に凹凸が0.5mm以下であることを確認してください。 ※凹凸があると取り付けられない場合があります。 凹凸を解消するかスペーサーを使用してフラット面を確保してください。	指示実行
前方ボードのみで設置する場合は間口を790mm以上確保してください。また肘掛け手すりや各種施設用はね上げ式手すりと組合せる場合は間口を940mm以上確保してください。住宅用はね上げ式手すりと組合せる場合は間口を960mm以上確保してください。	指示実行
使い勝手が損なわれるため各種施設用固定式手すり多用途用手すりL型(920タイプ･922タイプ･923タイプ･926タイプ･927タイプ)とは、同一壁に取り付けて組合せできません。	指示実行
身体状況にあわせて各種施設用固定式手すり多用途用手すりI型や肘掛け手すりとセットで設置されることをお勧めします。	指示実行
肘掛け手すりやはね上げ式手すりと前方ボードを組合せる場合は前方ボードとの隙間を120mm以上確保してください。体の一部（首など）を挟まれてケガをする恐れがあります。	指示実行

落下事故防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件を守り、後述の「●固定方法」に従って、固定してください。

- 石こうボード等のボード張りには、直接施工することはできません。必ずあらかじめ壁裏に補強木や取付プレートを入れて補強し、セメント仕上げ等の硬い壁に取り付けてください。
- 補強木や取付プレートは柱または間柱または床、天井などの建築側の躯体に固定してください。
- ALC板やコンクリートブロックそのものには取り付けできません。
- 木ずり下地、ラスボード下地への取付けは乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に補強木や取付プレートを入れ、補強してください。
- その他各種工法の壁への取付けは、後述の「●固定方法」を参照の上、適切な方法で行ってください。なお、中空壁への施工はでませんので、かならずモルタル等を充填すると共に、適切な方法で補強をしてください。

株式会社 LIXIL

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル **TEL 0570-017-173**

受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

●施工前のご注意

●取付前に、取付壁に突起や不陸がないことを確認してください。
●油などの汚れが付着した手で手すりを握らないでください。
※汚れがとれなくなる恐れがあります。
●手すり施工には別売の施工部材をお使いください。

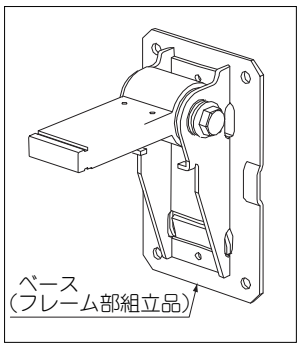
●施工方法

1. 現物あわせにて、取付位置を決めます。
※手すりを下ろした時のボード天面が高さ(便器上面～ボード上面が280㎜)になるようあわせます。
※施工にはレンチをお使いいただき、本体を傷つけないようご注意ください。
※詳しくは●推奨設置位置を確認ください。
2. 以下の「●固定方法」に従って手すりを壁に固定します。

●固定方法

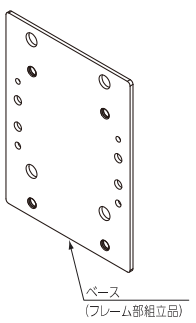
【壁への取付】

ベース(フレーム部組立品)を以下のいずれかの方法で壁に、確実に固定し、ガタツキのないことを確認する。



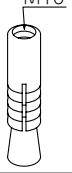
施工部材は別売です。壁の状況にあわせて選択し、別手配してください。

品番：KF-D15(取付プレート)



定価：¥3,500

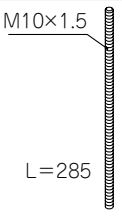
品番：KF-D32(あと施工アンカー(本体打込み式) セット)



セット内容：
あと施工アンカー
(本体打込み式)
(M10) 2ヶ

定価：¥450

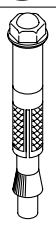
品番：KF-D33-1(全ネジセット)



セット内容：
全ネジ(M10) 2本
ナット(M10) 4ヶ
ワッシャー 4ヶ
スプリングワッシャー 2ヶ

定価：¥550

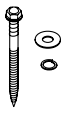
品番：AY-68-1(AYボルト)



セット内容：
AYボルト(M10)
1本

定価：¥1,650

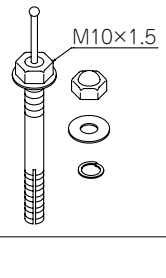
品番：KF-D18 (ハンガーボルトセット)



セット内容：
ハンガーボルト
(W3/8)4本
ワッシャー 4ヶ
スプリングワッシャー 4ヶ

定価：¥1,700

品番：KF-D17(1P) あと施工アンカー(芯棒打込み式)セット



セット内容：
あと施工アンカー
(芯棒打込み式)(M10) 1本
袋ナット(M10) 1ヶ
ワッシャー(呼び10) 1ヶ
スプリングワッシャー
(呼び10) 1ヶ

定価：¥950

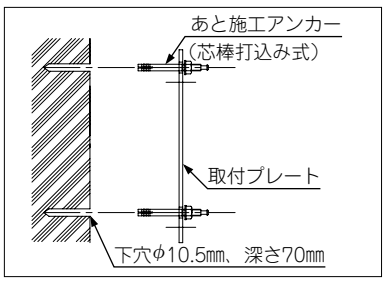
【コンクリート下地への取付け例】

(1) 取付プレート固定

施工部材	現場調達部材
・KF-D33-1：2セット ・KF-D17(1P)：4セット ・KF-D15　：1セット	(なし)

①壁を仕上げる前にコンクリート下地に手すり現物をあてて取付位置をけがきます。
あと施工アンカー(芯棒打込み式)の下穴をφ10.5㎜のドリルで約70㎜の深さにあけます。

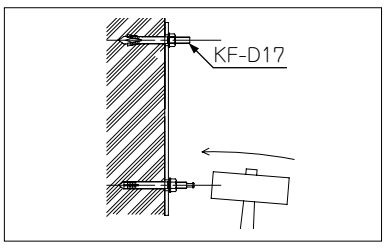
(注意) 下穴に残った粉は必ずきれいに掃除してください。
※強度が低下する恐れがあります。



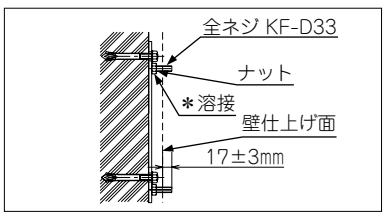
あと施工アンカー(芯棒打込み式)のねじ部を十分に残した状態で取付プレートの穴に通して、下穴に差し込んでください。

(注意) あと施工アンカー(芯棒打込み式)は必ずコンクリート下地に40㎜以上埋め込んでください。
※強度が低下する恐れがあります。

②あと施工アンカー(芯棒打込み式)の打ち込みピンをアンカーボルト上端に当たるまで打ち込んでアンカーを固定した後、ナットを締付けてください。

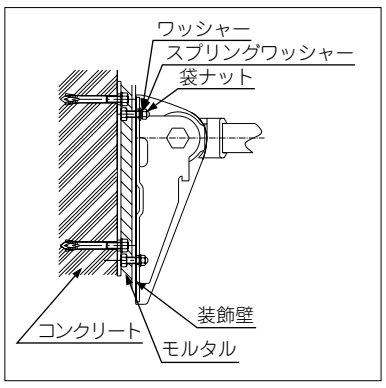


③取付プレートのM10×1.5の雌ねじ穴に寸切りボルトをねじ込み、ナットで締め込んだ後、溶接してください。ネジの長さは壁仕上げ面より17±3㎜出た長さに調整してください。



④壁を仕上げた後、手すりの取付穴にボルトを通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットで強固に締め付けてください。

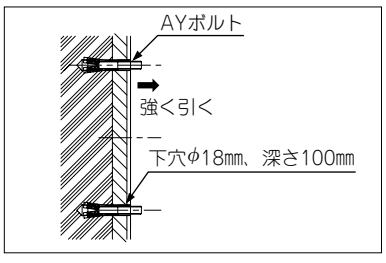
(注意) 中空壁には取付けできません。必ずモルタルを充填してください。
※強度が低下する恐れがあります。



(2) AYボルト固定

施工部材	現場調達部材
・AY-68-1　4本	(なし)

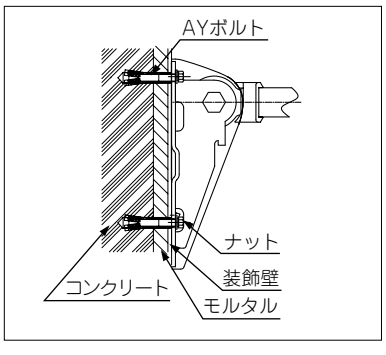
①手すり現物を壁にあてて手すりの取付位置をけがき、ドリルで下穴をあけます。
(下穴φ18㎜、深さ100㎜)



②AYボルトを差し込んで、下穴の入り口面でゴム筒の端を押さえ、ボルト部を強く引っ張ってボルトをしっかりと固定します。

(注意) ●AYボルトはコンクリート下地に必ず30㎜以上埋め込んでください。
※強度が低下する恐れがあります。
●ボルトの長さは壁仕上げ面より**17±3㎜**出た長さに調整してください。
※ボルトの出寸法が長いとカバーがはまらない恐れがあります。

③手すりの取付穴にAYボルトを通し、ワッシャー、袋ナットで強固に締め付けてください。
※付属のパッキンは使用しません。

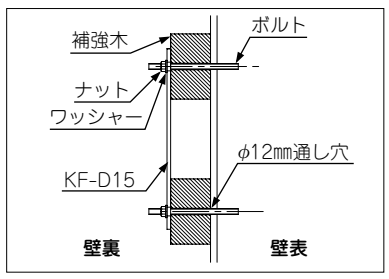


【木下地への取付け例】

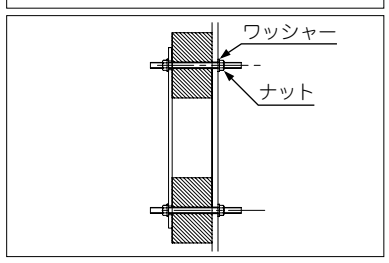
(1) はさみ込み固定

施工部材	現場調達部材
・KF-D15　1枚	・ナット（M10）4ヶ
・KF-D33-1　2セット	・ワッシャー（M10）4ヶ

①手すり現物を壁にあてて手すりの取付位置を決め、φ12㎜のドリルでボルトの通し穴をあけます。
ボルトを取付プレートの取付穴に通して、壁裏から通し穴に差し込みます。
補助木：合板45㎜以上または
角材75㎜以上



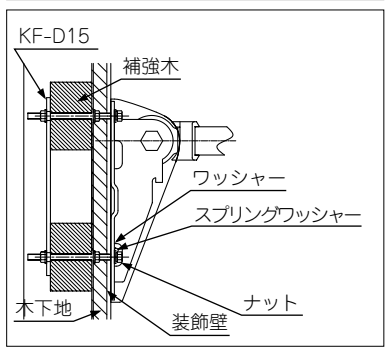
注意 ボルトの長さは壁仕上げ面より**17±3㎜**出た長さに調整してください。
※ボルトの出寸法が長いとカバーがはまらない恐れがあります。



②壁表からワッシャー、ナットで強固に締め付けます。

③壁を仕上げた後、手すりの取付穴にボルトを通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで強固に締め付けてください。

注意 コーチねじでの固定はできません。
※耐久強度が不足し、ガタなどが発生して使用できなくなる恐れがあります。

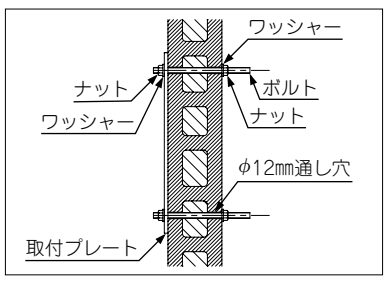


【コンクリートブロック下地への取付け例】

取付プレートはさみ込み固定

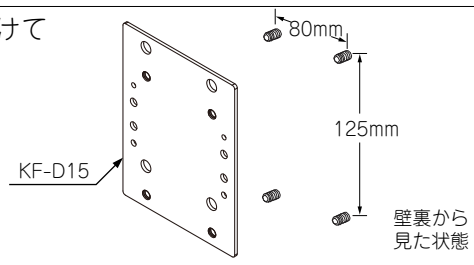
施工部材	現場調達部材
・KF-D15　1枚	・ナット（M10）4ヶ
・KF-D33-1　2セット	・ワッシャー（M10）4ヶ

①手すり現物を壁にあてて取付位置をけがきます。
取付プレートの外側の穴に合わせて、φ12㎜の通し穴をドリルであけてください。
ボルトを通し穴に差し込み、ブロック裏側に取付プレートをあてがって、表側よりナット、ワッシャーで締め付けてください。



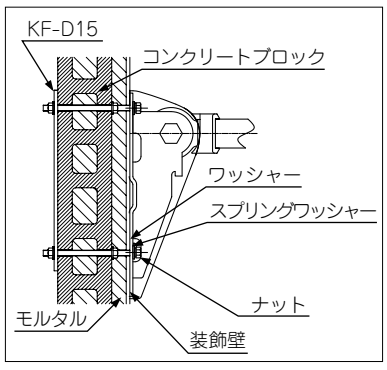
注意 ボルトの長さは壁仕上げ面より**17±3㎜**出た長さに調整してください。
※ボルトの出寸法が長いとカバーがはまらない恐れがあります。

注意 KF-D15は以下の方向で取り付けてください。
※プレートの方向に注意



②壁を仕上げた後、手すりの取付穴にボルトを通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで強固に締め付けてください。

注意 中空壁には取付けできません。必ずモルタルを充填してください。
※強度が低下し使用者がケガをする恐れがあります。



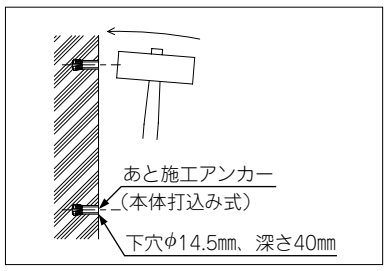
【GL工法への取付け例】

あと施工アンカー（本体打込み式）固定

施工部材	現場調達部材
・KF-D32　2セット	（なし）
・KF-D33-1　2セット	

①手すり現物を壁にあてて取付位置を決め、φ14.5㎜、深さ40㎜の下穴をあけてください。

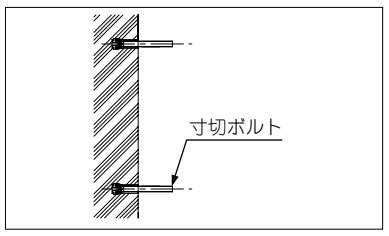
注意 下穴に残った粉は必ずきれいに掃除してください。
※強度が低下する恐れがあります。



下穴にあと施工アンカー（本体打込み式）を入れ、アンカーを打ち込みます。

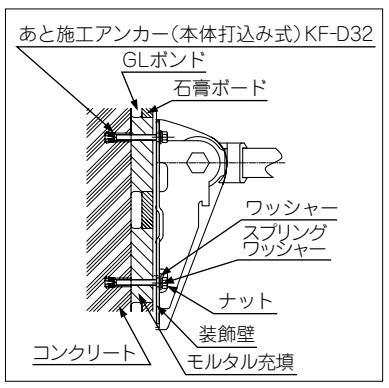
②寸切ボルトを取り付けた後、壁を仕上げます。

注意 寸切ボルトの長さは壁仕上げ面より**17±3㎜**出た長さに調整してください。
※ボルトの出寸法が長いとカバーがはまらない恐れがあります。



③手すりの取付穴に寸切ボルトを通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで強固に締め付けてください。

注意 中空壁には取付けできません。必ずモルタルを充填してください。
※強度が低下する恐れがあります。



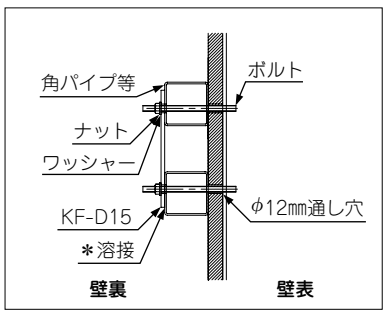
【軽量鉄骨下地への取付け例】

取付プレートはさみ込み固定

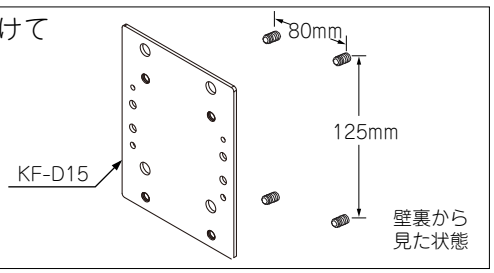
施工部材	現場調達部材
・KF-D15　1枚	・t2.3㎜以上の角パイプ（60×60）等
・KF-D33-1　2セット	

①軽量鉄骨などの躯体に補強用の角パイプ等を溶接し、さらに取付プレートを溶接します。
角パイプ等にφ12㎜の通し穴をあけて、ナットをつけたボルトを壁裏から通し穴に差し込みます。

注意 ボルトの長さは壁仕上げ面より**17±3㎜**出た長さに調整してください。
※ボルトの出寸法が長いとカバーがはまらない恐れがあります。
※調整後、ボルトを取付プレートに溶接してください。

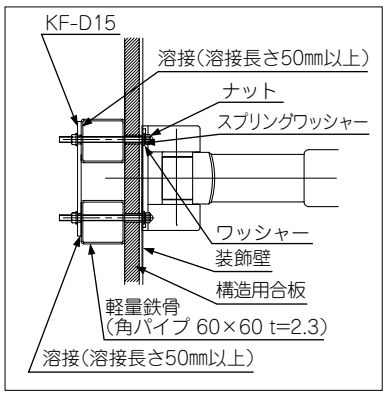


注意 KF-D15は以下の方向で取り付けてください。
※プレートの方向に注意



②壁の表からワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで強固に締め付けてください。

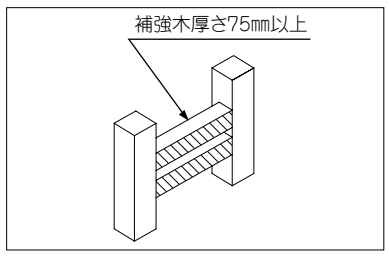
注意 軽量鉄骨（角パイプ）に取付プレートをしっかり溶接してください。



木下地への取付方法

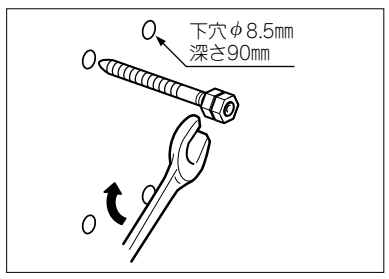
施工部材	現場調達部材
・KF-D18　1セット	・ナット（W3/8）2ヶ

①手すりの固定部には厚さ75㎜以上の補強木（取付木）を設けてください。



注意 補強木は柱、間柱に固定してください。また、壁仕上げ材、ボード張りの厚さは25㎜以下としてください。

②ハンガーボルトの下穴をφ8.5㎜のドリルで約90㎜の深さにあけます。

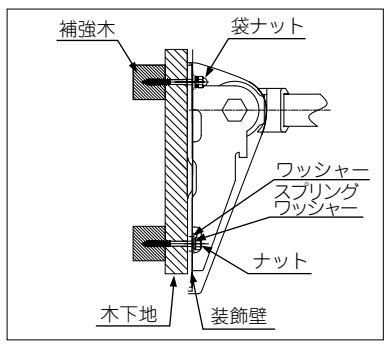


③ハンガーボルトを壁に取り付けます。ハンガーボルトにナット（現場調達部材）を2個つけ、互いのナットを逆方向に締付けダブルナットとし、ナット部分に工具を掛け、壁にネジ込みます。

注意 ハンガーボルトの長さは壁仕上げ面より**17±3㎜**出た長さに調整してください。
※ボルトの出寸法が長いとカバーがはまらない恐れがあります。

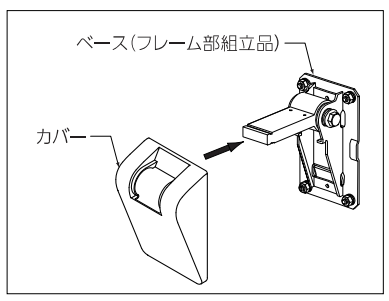
その後、締め付けたナットを外します。

④手すりの取付穴にハンガーボルトを合わせて通し、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットで強固に締め付けてください。



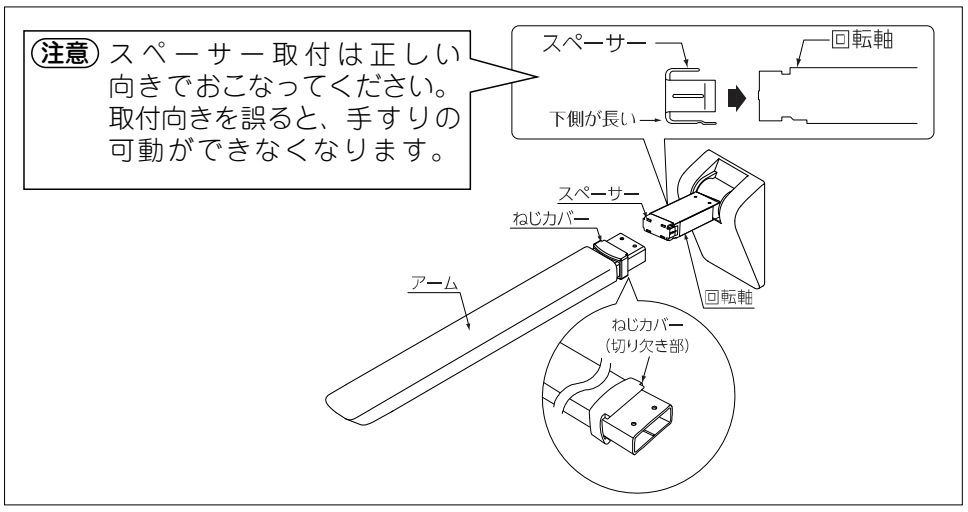
●カバーおよびアームの取付

①壁面へ固定したベース（フレーム部組立品）にカバーを（パチッと音がする）まで押し込みます。



注意 カバーは、いたずら防止のため、一度取付けると外れにくい構造となっています。
取付けはベースが壁に、確実に固定されていることを確認したあとに、おこなってください。

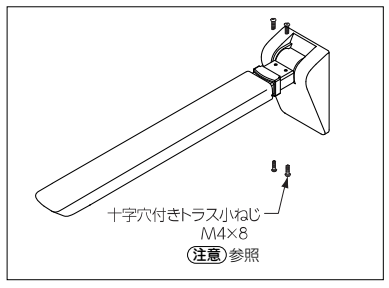
②スペーサーを回転軸の先端へ取付けます。スペンサーには、取付ける向きがあります。図を参照し取付けをおこなってください。



注意 スペーサー取付は正しい向きでおこなってください。
取付向きを誤ると、手すりの可動ができなくなります。

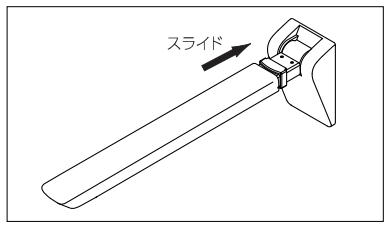
③アームを回転軸に装着します。

④属の十字穴付きトラス小ねじM4×8で回転軸とアームを固定します。ねじは、上面、下面の順に本締めをおこなってください。



注意 ねじを組込む際は、油や異物などを混入させないでください。また、ねじ切れの原因となりますので、インパクトなどの電動工具は使用せず4本とも手締めで最後までしっかりと締めてください。
※ねじ本数が足りなかったり、最後まで締まっていないと外れてケガをする恐れがあります。

⑤ネジカバーをパチッと音がするまで、ベース側へスライドしてください。



●施工後の作動確認

●施工後、取付方向が正しいか及びスムーズに動作するかについて確認してください。

●手すりが自重でバタンと降下しないか確認してください。
※手すりが自重でバタンと降下する場合は使用できないようにした上でお客さま相談センターまでご連絡ください。